

四郷小だより

発行人 深川 昭久

秋が深まってきました

晩秋の候、皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。全国的に新型コロナウイルスの感染者数が減ってきている現状は嬉しいことですが、油断せず基本的な感染症対策に心がけていきたいと思っています。

10月は2学期制の区切りの月です。10月11日(月)より、後期の授業が始まっています。また、10月23日(土)には緊急事態宣言で延期した運動会が実施できました。

10月の取組のいくつかを紹介します。

《アートな世界へようこそ！「マイシーサーをつくろう！」(10月6日)》

5年生が、県の文化体験プログラムに参加しました。題して「アートな世界へようこそ！『マイシーサーをつくろう！』」。名張市を拠点に活動されているアーティスト長船侍夢さんを講師としてお迎えしテラコッタという粘土で、児童が自分なりのシーサーを作りました。

完成した作品は11月の作品展に披露させていただきます。お楽しみに。



《さつまいもほり 3年(10月8日)》

3年生が運動場東側にある学校の畑で、さつまいもほりをしました。青空の下、楽しく体験できました。



《夏休みの児童作品の展示》

四郷小学校に隣接するコミュニティーセンター(四郷支所)の1階地域交流室で、夏休み中に取り組んだ児童の作品を展示しました。



運動会、がんばりました！楽しめました！！

○運動会前日準備(10月22日)

午後から、明日の運動会の前日準備でした。午前は曇天で天候が心配でした午後からは青空になり、5、6年の児童、職員だけでなくPTAの役員の方に協力を頂き準備をしました。

時間を見つけて運動会の係打合せをしている児童もいました。



○運動会当日(10月23日)

(1) 開会式・ラジオ体操

朝から青空の下、運動会を行うことができました。

はじめは、児童会本部の児童が校旗を先頭に運動会テーマの幕を掲げて入場してきました。また、児童会本部の児童は開会式の進行も行いました。開会宣言、児童会会長挨拶、学校長の話、誓いの言葉、諸注意の後、ラジオ体操を行いました。



(2) 競技

運動会のプログラムは、表現を11月の学校公開日に行いますので、各学年の徒競走と低・中・高別の団体競技ということになりました。物足りなさを感じられた方もいらしたと思いますが、楽しみながらも一生懸命に頑張っている児童の姿を見ていただくことができたと思います。



(3) 応援・係

運動会では競技はもちろんのこと、児童の応援や係活動も大切です。

声援を送りながらも「わたしが〇年になったなら、もっと・・・してうまくやったるわ」と言っている児童の言葉に、楽しんでいる気持ちを感じました。



冬時間帯の下校時刻・帰宅時刻

11月から2月まで、日没が早まるのにあわせて、下校時刻が16:00となります。また、帰宅後に外で遊んでいる場合等も、16:30という冬時間帯になります。